

**メディア担当者**

Christa Hyson, MPH  
Senior Manager, External Relations  
(513) 247-5254

**緊急通知**

**Greater Cincinnati Hospitals では選別的処置を中止**  
入院患者と外来患者の両方において、  
予定されている非緊急の侵襲的手技はすべて延期されます。

感染症の蔓延の防止および個人用保護具と病院の能力を維持するために、Greater Cincinnati Hospitals は選別的処置を中止しています。この決定は、州政府、米国外科医院、米国外科医総長の指導に従ったものです。

必須ではない手技の延期により、地域がスペース（例：部屋やベッド）を活用し、備品（例：個人用保護具および換気装置）を確保し、人材（例：プロバイダーおよびスタッフ）を配分することが可能になります。これらのリソースの責任ある配分を実行することは、COVID-19 患者の潜在的な流入に対する準備に役立ちます。

非必須的な手術または処置は、患者の現在または将来の健康に対し過度のリスクなしに遅らせることができるものです。例えば、

- a. 実行されない場合に、患者の生命のリスクがある。
- b. 四肢または臓器系の永続的な機能障害のリスクがある。
- c. 時間の経過により悪化する状況。

プロバイダーとスケジューラーは患者に直接連絡して、次の手順を伝えたり、将来の処置のスケジュールを組みなおしたりします。ご迷惑をおかけする事になりますが、これは我々の地域の安全と準備対策するために必要な事なのです。特定の病院または医療システムのポリシーとその更新の詳細については、関連する Web サイトをご覧ください。

COVID-19 の詳細については、<https://healthcollab.org/covid-19/> をご覧ください。

**###**